

21世紀のキーワードは「環境」

わたしたちの秋田市は、東に太平山、西に日本海、市内を流れる旭川や雄物川。豊かな自然に囲まれた美しいまちです。

人にも地球にも
やさしいあきたでいたい。

この自然いつまでも、地球にやさしい風とともに... 向浜の風力発電機

撮影：時田健一さん(川元むつみ町)

資源やエネルギーを大量に消費する今日の便利で豊かな生活は、地球環境に大きな負担を強いてきました。その結果、地球の忍耐も限界に達しようとしています。

地球環境を守り、秋田市の恵まれた自然を次世代に引き継ぐためにも、ちよつと考えてみませんか。環境について...。そして、私たちにできることについて...。

来年からは

家電リサイクル法も

平成九年四月にスタートした「容器包装リサイクル法」。びん、かん、紙類、ペットボトルなど、家庭ごみの六割を占めていた容器包装廃棄物を資源として再利用しようというものです。以前からリサイクルは行われていましたが、この法律により消費者・市町村・事業者それぞれに、分別排出・収集などの役割がはっきりと定められました。

秋田市でも、びん、かん、紙類に加え、昨年四月からペットボトルの分別収集をスタート。一年間に家庭から回収されたペットボトルは六二九トにもなりました。一時は在庫が膨らんだこともありましたが、現在はすべて引き取られ、資源化されています。

このペットボトルの分別収集により、昨年の燃やせないごみの量は前年に比べ七〇〇ト以上も減り、埋め